



県政報告 県政を身近に

令和8年
2026
春季号

Vol.59

埼玉県議会議員

武内まさふみ

【発行】
埼玉県議会 自由民主党議員団

〈未来への投資〉

先の2月定例会において、議会の議決を要する工事又は製造の請負の予定価格を、物価上昇により37年ぶりに5億円以上から8億円以上に上げることとしました。今日、物価上昇に対して国などによる直接支援とともに、働く人の賃金上昇につながる公共投資を増やすことが重要です。私は、県民の皆様が安定した生活が送れるよう、引き続き「未来への投資」を進める県政に取り組めます。

県議会初の高校生との意見交換会開催

県議会では、若い人たちが県議会を身近に感じ、県政や県議会への関心が高まるよう、令和6年度から大学生との意見交換会を始めました。令和7年度は対象を広げ、埼玉県議会として初めて高校生との意見交換会を行いました。

主権者教育にも貢献する初の取り組みは、県立浦和西高校の1年生360人を対象として1月27日、28日、30日の3日間行われました。高校生からの課題と解決策がグループごとに示され、県議会議員がそれに対して質問や意見を述べる形で活発な意見交換が行われました。



県「クビアカツヤカミキリ」対策に動き出す

★実効性のある防除方針を新たに策定

自民党議員団（田村団長）の代表質問に答え、知事は「県全体を俯瞰した実効性のある防除の方針づくりや、県管理の公園等における防除を強化するなどの取組を拡充する」意向を明らかにしました。

★令和8年度予算の増額・拡充

戦略的に対策を進める市町村への財政支援を強化するため、環境部では令和8年度関連予算額を令和7年度に比べて約2倍に、また農林部では、ウメなどの農作物被害に対して約32%増額しました。

★啓発・広報の充実

クビアカツヤカミキリ被害の発見・駆除、通報への協力を広く県民に広報することが防除対策に不可欠です。武内県議の働きかけによ

令和8年2月定例県議会（令和8年2月19日～3月27日）

「埼玉が牽引する持続可能な社会の構築」令和8年度当初予算決まる！

一般会計 2兆4,348億6500万円（前年度比9.1%増）

- 県税収入9,025億円は、当初予算額としては過去最高。
- 県債1,868億円は、緊急性の高い防災・減災対策、公共施設の長寿命化などに活用され、対前年度10.7%増。
- 歳出のうち投資的経費2,264億円は、さいたまスーパーアリーナの大規模改修などの県単独事業が増加することから、対前年度10%増、過去10年で最大。
- 補助費4,153億円は、国の学校給食費の負担軽減と高校無償化の拡充に加え、市町村介護保険財政支援事業費、後期高齢者医療対策費などの増加により、対前年度12.4%増。

新事業等の紹介

◆県立学校の空調整備

……36億4,029万7千円

防災拠点校に加え、令和8年度から全ての県立学校の体育館空調設備を順次整備します。保護者負担だった特別教室などの維持管理費も公費負担とします。

区分	令和8年度	令和9年度以降	整備目標
体育館	防災拠点校 工事		～令和8年度
	特別支援学校 設計・工事		～令和12年度
	高校（防災拠点校以外） 設計・工事		～令和15年度
選択・特別教室	高校（未設置校） 設計・工事		～令和15年度

◆旧毛呂山高校解体事業費

……3億3,633万6千円

旧毛呂山高校については、現存建物を含め購入の意向を示していた者が辞退したため、改めて解体事業費（2か年継続費）を計上し解体に着手することとしました。

R8年度:3億3,633万6千円

R9年度:8億 766万4千円

◆学校給食の負担軽減

……191億4,964万7千円

令和8年4月から小学校での学校給食費

の負担軽減を行うため、市町村立小学校等の児童及び県立特別支援学校小学部の児童の給食費を県が補助します。

◆警察官の増員……4億1,456万2千円

本県は、警察官1人当たりの人口負担が全国第1位であり、警察官を昨年度に続いて増員します。全国475人の配分人数のうち埼玉県は175人の配分で全国第1位となります。

（警察官の定数 11,699人→11,874人）

◆地震被害想定調査の実施

……7,755万2千円

首都直下地震に対する最新の知見を活かした被害想定調査を実施し、防災施策の基礎資料とします。令和8年度に基礎情報の収集・調査を行い、令和9年度は地震被害の調査報告書を取りまとめます。

◆埼玉県活樹推進プロジェクト

……5,218万6千円

- ① 災害時などに活用できる移動木造応急住宅を整備し、新たな県産木材利用モデルとして発信するとともに、市町村や民間事業者による活樹の取組を促進します。
- ② 丸太や製材品を保管する場所の整備をはじめ、木材需要に応じて市場に供給する流通体制の構築に向けて、実効性調査と事業構想案を策定します。

り、県の広報誌「彩の国だより」4月号に啓発記事が掲載されるとともに、県のホームページの内容を県民向けに充実しました。

被害拡大中 **クビアカツヤカミキリ** から守ろう

梅や桜、桃などの木を食べて枯らす特定外来生物です。初期 県みどり自然課 対応が被害拡大防止に有効なため、ご協力をお願いします。 ☎ 048-830-3143

4月～11月 フラス[※]の出現 6月～8月 成虫の出現

フラスは樹木食害の合図です。 生餌系保全のため、見つけたら **その場で捕殺!**

詳しくは

*水くずと幼虫の3人が集まったものがカリンツブ状で出るのが特徴

▲「彩の国だより」に掲載された記事

「県産木材利用促進条例」を制定

埼玉県では令和7年5月に第75回全国植樹祭が開催され、森林資源の活用や木材の利用拡大を図る「活樹」の重要性を発信していくこととしました。この理念のもと県から県産木材利用促進条例（案）が提案され、議会で承認、成立しました。

条例では、県、市町村、森林所有者、林業事業者、木材産業事業者、建築関係事業者の責務と役割を定めました。



令和8年度 県施工の主な地元公共事業 (予算額1千万円以上の事業)

～重郎橋の架替工事、大幅に予算が増加～

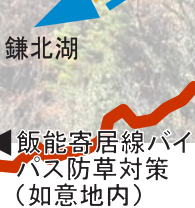
毛呂山町、越生町、鳩山町における飯能県土整備事務所及び東松山県土整備事務所施工予定の令和8年度予算額は11億5,826万円となり、令和7年度の7億1,200万円に比べて62.7%という大幅な伸びとなりました。

これは、長年事業が停滞していた重郎橋の架換え工事に着工することとなったことや各町とも事業が増加したことが要因です。

- 毛呂山町**
- ① 川越坂戸毛呂山線(川角地内) 舗装修繕工事 L=450m
 - ② 飯能寄居線バイパス岩井陸橋(平山地内) 防草対策工事
 - ③ 越辺川(苦林地内) 護岸工事、測量設計
 - ④ 大谷木川(大谷木地内) 河川管理施設修繕・工事 L=7m
 - ⑤ 大谷木川(大谷木地内) 河川管理施設修繕・工事 L=8m
 - ⑥ 大谷木川(前久保南地内) 河川管理施設修繕・設計委託
 - ⑦ 越辺川(苦林地内) 樋管工事<2月補正予算>

- 鳩山町**
- ① 岩殿岩井線(重郎橋)(赤沼地内) 委託・使賃料・工事・補償
 - ② ときがわ坂戸線(竹本地内) 舗装修繕工事
 - ③ ときがわ坂戸線(大豆戸地内) 側溝新設工事
 - ④ 鳩川(赤沼地内) 橋梁架換工事、護岸工事、測量設計、用地買収
 - ⑤ 岩殿岩井線(重郎橋)(赤沼地内) 補償<2月補正予算>

- 越生町**
- ① 越生長沢線(黒山地内) 工事・補償
 - ② 飯能寄居線バイパス(如意地内) 舗装修繕工事
 - ③ 飯能寄居線バイパス(如意地内) 防草対策工事
 - ④ 越辺川(西和田地内) 護岸工事
 - ⑤ 顔振川(黒山地内) 長寿命化計画に基づく砂防改築、調査委託
 - ⑥ 上殿川(上谷地内) 渓流保全工事
 - ⑦ 越生長沢線(黒山地内) 道路改築工事<2月補正予算>
 - ⑧ 越辺川(大満地内) クマ対策樹木伐採<2月補正予算>



武内まさふみの活動日誌

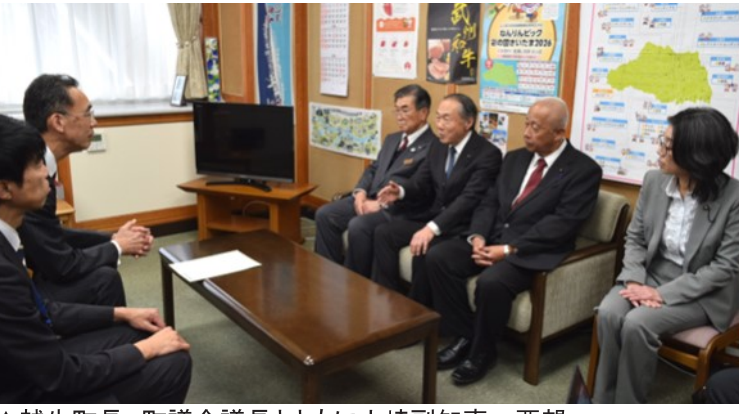
◆自民党議員団の政策大綱に対する県の回答

自民党議員団から知事に提出した令和8年度の予算編成についての要望「政策大綱」に対して、県の対応についての回答が示されました。(1月22日)



クビアカツヤカミキリ対策について知事への要望

特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」により、越生町の主要農産物であるウメに被害が拡大しているため、県知事に対してその対策と拡大防止への支援を要望しました。(2月10日)



〈自然再生・循環社会対策特別委員会の視察〉

■(株)ウム・ヴェルト・ジャパン (寄居町)
同社寄居工場は、「彩の国資源循環工場」に認定され、廃棄された太陽光パネルや蛍光管など、特殊な廃棄物のトータルリサイクルに取り組み、循環型社会の推進に寄与しています。

■(株)シタラ興産 (深谷市)
同社は、産業廃棄物処理業者として、県が展開している「3S運動」(「3K」のイメージからスマイル・セイケツ・スタイルの良いイメージへの転換を図る運動)において、令和4年度に県のトップランナー賞を受賞しました。



埼玉県議会6月定例会のお知らせ
令和8年6月15日(月)から7月3日(金)までの予定。会期日程等は県議会HPでご確認ください。